



せたがや区議会だより

No.304

令和8年(2026年)4月25日
発行 世田谷区議会

https://www.city.setagaya.lg.jp/gikai/index.html



〒154-8504 世田谷区世田谷4-21-27 TEL(5432)2779 FAX(5432)3030

令和8年度予算を可決 第1回定例会

議決内容

議決した案件の概要をご紹介します。今回の定例会では、区長から8年度予算案4件を含む39件、議員から3件の案件が提出され、8年度予算案を審査するために予算特別委員会を設置しました。提出された議案は全て可決しました。また、新しい副議長を選出しました。

※本紙に掲載する条例名は略称を使用しています。

●副議長の辞職の許可 (全員賛成)
副議長 福田 たえ美 (公明)

●予算特別委員会の設置と委員の選任 (全員賛成)
8年度予算を審査するため、予算特別委員会を設置し、49名の議員を委員として選任する。

●8年度各会計予算 4件
○一般会計
賛成多数 議員 立憲 共産 国民 生 虹
賛成多数 虹 共産 国際 風 日本 維新 無所属
賛成多数 虹 共産 国際 風 日本 維新 無所属
賛成多数 議員 立憲 共産 国民 生 虹
賛成多数 虹 共産 国際 風 日本 維新 無所属

○国民健康保険事業会計
賛成多数 議員 立憲 共産 国民 生 虹
賛成多数 虹 共産 国際 風 日本 維新 無所属
賛成多数 虹 共産 国際 風 日本 維新 無所属
賛成多数 議員 立憲 共産 国民 生 虹
賛成多数 虹 共産 国際 風 日本 維新 無所属



呑川緑道の桜

○後期高齢者医療会計
賛成多数 議員 立憲 共産 国民 生 虹
賛成多数 虹 共産 国際 風 日本 維新 無所属

○介護保険事業会計 (全員賛成)
―関連記事は6〜7ページに掲載

●7年度各会計補正予算 5件
○一般会計 (第六次)
賛成多数 議員 立憲 共産 国民 生 虹
賛成多数 虹 共産 国際 風 日本 維新 無所属

○国民健康保険事業会計(第二次)
賛成多数 議員 立憲 共産 国民 生 虹
賛成多数 虹 共産 国際 風 日本 維新 無所属

○後期高齢者医療会計(第二次)
賛成多数 議員 立憲 共産 国民 生 虹
賛成多数 虹 共産 国際 風 日本 維新 無所属

○介護保険事業会計(第二次)
賛成多数 議員 立憲 共産 国民 生 虹
賛成多数 虹 共産 国際 風 日本 維新 無所属

○学校給食費会計(第二次) (全員賛成)
―補正後の予算額は次のとおり。
一般会計 四三〇七億二五五九万二千円
国保会計 八二八億二七〇万八千円
後期高齢者会計 二七九億六九七万二千円
介護会計 七六七億二七二万七千円
給食会計 三九億五二六万九千円

●条例の新設 1件
○特定乳児等通園支援事業の運営基準等条例 (全員賛成)
特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準などを定める。

●条例の改正 20件
○組織条例 (全員賛成)
環境政策、清掃及びリサイクル事業に係る政策などを総合的に推進するため、清掃・リサイクル部を環境政策部に統合する。

○職員給与条例等
賛成多数 議員 立憲 共産 国民 生 虹
賛成多数 虹 共産 国際 風 日本 維新 無所属

○管理職員及び技能系職員に係る給料表を改定することなど。
○幼稚園教育職員給与条例
賛成多数 議員 立憲 共産 国民 生 虹
賛成多数 虹 共産 国際 風 日本 維新 無所属

○管理職員に係る特別勤務手当の支給対象の時間帯を改定する。
○手数料条例 (全員賛成)
マンションの建替え等の円滑化に関する法律の改正などに伴い、必要な規定を整備する。

○区民会館条例等 (全員賛成)
区民会館の集客室などを営利目的で利用できるよう必要な規定を整備することなど。
○心身障害者福祉手当条例 (全員賛成)
心身障害者福祉手当の支給額を一部引き上げるとともに、支給要件に係る規定を整備する。

○公園条例 (全員賛成)
上祖師谷たなばた公園 (上祖師谷7-7-1) を新設する。
○身近な広場条例 (全員賛成)
成城みつ池広場 (成城4-1-20) を新設する。
○児童福祉施設の設備・運営基準条例 (全員賛成)
―一時保護施設の設備・運営基準条例 (全員賛成)
―以上2件は、職員の任用要件にこども家庭ソーシャルワーカーの資格を追加することなど。

○特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営基準条例 (全員賛成)
○幼保連携型認定こども園以外の認定こども園の認定の要件条例 (全員賛成)
○幼保連携型認定こども園の運営等の基準条例 (全員賛成)
―以上3件は、運営に関する省令などの改正に伴い、必要な規定を整備する。

○環境美化等条例 (全員賛成)
加熱式たばこを区たばこルールの規制対象に加えることに伴い、必要な規定を整備する。
○清掃・リサイクル条例 (全員賛成)
清掃・リサイクル審議会を環境審議会に統合することに伴い、清掃・リサイクル審議会に係る規定を廃止することなど。
○財団法人に対する助成等条例 (全員賛成)
○公益的法人等への職員派遣等条例 (全員賛成)
○せたがやの家の供給条例 (全員賛成)
―以上3件は、一般財団法人世田谷トラストまちづくりの公益財団法人への移行に伴い、必要な規定を整備する。

○国民健康保険条例
賛成多数 議員 立憲 共産 国民 生 虹
賛成多数 虹 共産 国際 風 日本 維新 無所属

○特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営基準条例 (全員賛成)
○幼保連携型認定こども園以外の認定こども園の認定の要件条例 (全員賛成)
○幼保連携型認定こども園の運営等の基準条例 (全員賛成)
―以上3件は、運営に関する省令などの改正に伴い、必要な規定を整備する。

○環境美化等条例 (全員賛成)
加熱式たばこを区たばこルールの規制対象に加えることに伴い、必要な規定を整備する。
○清掃・リサイクル条例 (全員賛成)
清掃・リサイクル審議会を環境審議会に統合することに伴い、清掃・リサイクル審議会に係る規定を廃止することなど。
○財団法人に対する助成等条例 (全員賛成)
○公益的法人等への職員派遣等条例 (全員賛成)
○せたがやの家の供給条例 (全員賛成)
―以上3件は、一般財団法人世田谷トラストまちづくりの公益財団法人への移行に伴い、必要な規定を整備する。

○国民健康保険条例
賛成多数 議員 立憲 共産 国民 生 虹
賛成多数 虹 共産 国際 風 日本 維新 無所属

○特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営基準条例 (全員賛成)
○幼保連携型認定こども園以外の認定こども園の認定の要件条例 (全員賛成)
○幼保連携型認定こども園の運営等の基準条例 (全員賛成)
―以上3件は、運営に関する省令などの改正に伴い、必要な規定を整備する。

○環境美化等条例 (全員賛成)
加熱式たばこを区たばこルールの規制対象に加えることに伴い、必要な規定を整備する。
○清掃・リサイクル条例 (全員賛成)
清掃・リサイクル審議会を環境審議会に統合することに伴い、清掃・リサイクル審議会に係る規定を廃止することなど。
○財団法人に対する助成等条例 (全員賛成)
○公益的法人等への職員派遣等条例 (全員賛成)
○せたがやの家の供給条例 (全員賛成)
―以上3件は、一般財団法人世田谷トラストまちづくりの公益財団法人への移行に伴い、必要な規定を整備する。

○国民健康保険条例
賛成多数 議員 立憲 共産 国民 生 虹
賛成多数 虹 共産 国際 風 日本 維新 無所属

○特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営基準条例 (全員賛成)
○幼保連携型認定こども園以外の認定こども園の認定の要件条例 (全員賛成)
○幼保連携型認定こども園の運営等の基準条例 (全員賛成)
―以上3件は、運営に関する省令などの改正に伴い、必要な規定を整備する。

○環境美化等条例 (全員賛成)
加熱式たばこを区たばこルールの規制対象に加えることに伴い、必要な規定を整備する。
○清掃・リサイクル条例 (全員賛成)
清掃・リサイクル審議会を環境審議会に統合することに伴い、清掃・リサイクル審議会に係る規定を廃止することなど。
○財団法人に対する助成等条例 (全員賛成)
○公益的法人等への職員派遣等条例 (全員賛成)
○せたがやの家の供給条例 (全員賛成)
―以上3件は、一般財団法人世田谷トラストまちづくりの公益財団法人への移行に伴い、必要な規定を整備する。

○国民健康保険条例
賛成多数 議員 立憲 共産 国民 生 虹
賛成多数 虹 共産 国際 風 日本 維新 無所属

副議長 福田 たえ美 (公明)

新しく副議長を選出しましたので紹介します。

保険料率を改定することにも、子ども・子育て支援納付金に係る保険料率を定めることなど。
○介護保険条例
賛成多数 議員 立憲 共産 国民 生 虹
賛成多数 虹 共産 国際 風 日本 維新 無所属

●工事請負契約の締結 3件
○瀬田小学校整備他工事 (全員賛成)
相手方 日勝スポーツ工業株式会社
契約金額 二億七三〇五万八千円
工期 8年11月30日
○弦巻中改築等電気設備工事 (全員賛成)
相手方 旭・大雄建設共同企業体
契約金額 八億一七九万円
工期 11年2月28日
○桜丘幼稚園改修工事(全員賛成)
相手方 東光建設株式会社
契約金額 二億三三〇万円
工期 9年2月26日

○環境美化等条例 (全員賛成)
加熱式たばこを区たばこルールの規制対象に加えることに伴い、必要な規定を整備する。
○清掃・リサイクル条例 (全員賛成)
清掃・リサイクル審議会を環境審議会に統合することに伴い、清掃・リサイクル審議会に係る規定を廃止することなど。
○財団法人に対する助成等条例 (全員賛成)
○公益的法人等への職員派遣等条例 (全員賛成)
○せたがやの家の供給条例 (全員賛成)
―以上3件は、一般財団法人世田谷トラストまちづくりの公益財団法人への移行に伴い、必要な規定を整備する。

○国民健康保険条例
賛成多数 議員 立憲 共産 国民 生 虹
賛成多数 虹 共産 国際 風 日本 維新 無所属

○特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営基準条例 (全員賛成)
○幼保連携型認定こども園以外の認定こども園の認定の要件条例 (全員賛成)
○幼保連携型認定こども園の運営等の基準条例 (全員賛成)
―以上3件は、運営に関する省令などの改正に伴い、必要な規定を整備する。

○環境美化等条例 (全員賛成)
加熱式たばこを区たばこルールの規制対象に加えることに伴い、必要な規定を整備する。
○清掃・リサイクル条例 (全員賛成)
清掃・リサイクル審議会を環境審議会に統合することに伴い、清掃・リサイクル審議会に係る規定を廃止することなど。
○財団法人に対する助成等条例 (全員賛成)
○公益的法人等への職員派遣等条例 (全員賛成)
○せたがやの家の供給条例 (全員賛成)
―以上3件は、一般財団法人世田谷トラストまちづくりの公益財団法人への移行に伴い、必要な規定を整備する。

○国民健康保険条例
賛成多数 議員 立憲 共産 国民 生 虹
賛成多数 虹 共産 国際 風 日本 維新 無所属

○特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営基準条例 (全員賛成)
○幼保連携型認定こども園以外の認定こども園の認定の要件条例 (全員賛成)
○幼保連携型認定こども園の運営等の基準条例 (全員賛成)
―以上3件は、運営に関する省令などの改正に伴い、必要な規定を整備する。

○環境美化等条例 (全員賛成)
加熱式たばこを区たばこルールの規制対象に加えることに伴い、必要な規定を整備する。
○清掃・リサイクル条例 (全員賛成)
清掃・リサイクル審議会を環境審議会に統合することに伴い、清掃・リサイクル審議会に係る規定を廃止することなど。
○財団法人に対する助成等条例 (全員賛成)
○公益的法人等への職員派遣等条例 (全員賛成)
○せたがやの家の供給条例 (全員賛成)
―以上3件は、一般財団法人世田谷トラストまちづくりの公益財団法人への移行に伴い、必要な規定を整備する。

○国民健康保険条例
賛成多数 議員 立憲 共産 国民 生 虹
賛成多数 虹 共産 国際 風 日本 維新 無所属

○特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営基準条例 (全員賛成)
○幼保連携型認定こども園以外の認定こども園の認定の要件条例 (全員賛成)
○幼保連携型認定こども園の運営等の基準条例 (全員賛成)
―以上3件は、運営に関する省令などの改正に伴い、必要な規定を整備する。

○環境美化等条例 (全員賛成)
加熱式たばこを区たばこルールの規制対象に加えることに伴い、必要な規定を整備する。
○清掃・リサイクル条例 (全員賛成)
清掃・リサイクル審議会を環境審議会に統合することに伴い、清掃・リサイクル審議会に係る規定を廃止することなど。
○財団法人に対する助成等条例 (全員賛成)
○公益的法人等への職員派遣等条例 (全員賛成)
○せたがやの家の供給条例 (全員賛成)
―以上3件は、一般財団法人世田谷トラストまちづくりの公益財団法人への移行に伴い、必要な規定を整備する。

公職選挙法の規定により、議員の寄附行為が時候のあいさつ状態などは禁止されています。

8ページへ続く

代 表 質 問

2月18日及び19日の本会議で、5名の議員がそれぞれの会派を代表して質問を行いました。その一部を要約してお伝えします。



自由民主党世田谷区議員
加藤 たいき

持続可能な財政運営の徹底

質問 8年度予算案は約40億円で増大しており、事業の精査が十分とは到底思えない。将来の財政需要を見据え、不断の行財政改革により持続可能な財政運営を行え。

区長 事業見直しを含め様々な視点で歳出の適正化と抑制に努める。スポーツを通じた地域活性化

質問 スポーツには人の心を一つにし、地域の絆を深める力がある。区内で地域貢献活動に取り組み、C東京やスフィータ世田谷などと連携協定を結び地域活性化を図れ。

スポーツ推進部長 連携拡大を視野に協定締結に向け条件整理を進める。定住・住み替え応援事業への疑問

質問 区は子育て世帯などを対象に定住・住み替え応援事業を始めるが、数十万円相当の応援金に実効性が伴つか疑問だ。評価指標を明示し施策の効果を十分検証せよ。

都市整備政策部長 効果を総合的に検証し、継続要否などを判断する。日本版DBSの運用方針

質問 性暴力を許さない社会の構築は区の責務だ。子どもと関わる職に就く者の性犯罪歴を確認する日本版DBSを運用し、現職員の照会などを適切に進めよ。

学校教育部長 国の指針などを基に適切に検討を進め運用を図る。在宅子育て家庭への支援の充実

質問 乳幼児期の子どもを在宅で育てたいと望む方は少なくない。ネウボロ面接などを通じて子育て家庭のニーズを把握し、在宅子育てを積極的に選べる環境を整えよ。

子ども・若者部長 多様な子育てスタイルを選べるよう支援を充実する。塾ありきの学校教育の改善

質問 区立中の授業についていくために塾に通う生徒がいる現状を是正すべきだ。指導体制を改善し、学校教育だけで基礎学力が確実に身につくよう教育の質を高めよ。

教育長 協働的な学びや個々の習熟度に応じた指導の充実を図る。学習用タブレットの適正利用

質問 学習用タブレットを悪用したいじめや盗撮などを防ぐため、適正利用を促す対策が必要だ。フ

ィルタリング機能を整備し必要最小限の範囲で利用状況を把握せよ。

教育総務センター長 当該機能の整備など、安全な環境づくりに努める。配慮を要する子どもへの支援充実

質問 インクルーシブ教育支援員が質の高い支援を提供するには児童生徒との継続的な関わりが不可欠だが、制度上3年しか同一校で勤務できない。勤務年限を見直せ。

学校教育部長 配置転換の影響も考慮し柔軟な制度運用に取り組む。高齢者の見守り体制の強化

質問 独居高齢者と高齢者のみ世帯は増加傾向にあり、見守り体制の強化が急務だ。ICT機器などを活用し、支援に必要な情報を区が把握できる仕組みを構築せよ。

高齢福祉部長 8年度よりICTを活用した見守り支援を開始する。世田谷らしい独自産業の創出

質問 世田谷らしい産業をつくり出すブランドを高めるべきだ。ホームワークビレッジを核に多様な分野の事業者を結び「メイドイン世田谷」と呼べる産業を創出せよ。

副区長 区内の様々な分野と連携し、世田谷らしい取組を展開する。路線バスの維持に向けた支援

質問 区内で路線バスの減便や廃止が相次ぎ、公共交通不便地域が拡大している。区民生活に不可欠な路線の維持に向け、バス事業者へ運行経費の補助などを検討せよ。

副区長 運転士不足への対応などの支援を通じて路線維持に努める。恵泉通り開通に向けた区長の決断



公明党世田谷区議員
河村 みどり

保育待機児対策の強化

質問 保育待機児対策の強化に向け、私立園の整備を促進すべきだ。保育課が不動産事業者と連携し、保育施設として利用可能な物件の情報保育事業者に公開せよ。

子ども・若者部長 保育事業者と情報共有する仕組みなどを検討する。児童相談所の一時保護所の拡充

質問 区の一時保護所は保護児童の定員超過により個室が不足するなど子どもの人権を尊重した生活環境とは言い難い状況だ。適地への移設を含め、改善策を検討せよ。

副区長 抜本的な環境改善の方策について具体的な検討を進める。せたがやPayの機能拡充

質問 せたがやPayにマイナンバーカードを用いた区民認証機能が追加される。これを機に個人情報管理などの課題を整理し区の施策と連動した機能拡充を進めよ。

区長 区民の幸福度向上に資するツールとして機能拡充に取り組む。がん検診の無料化

質問 23区を含め、がん検診費用を無料化する自治体が増えている。早期発見・早期治療の鍵を握るがん検診の受診率向上を図るため、区もがん検診の無料化を進めよ。

区長 がん対策推進委員会の意見を踏まえ、慎重に判断していく。災害時の在宅避難者への支援強化

質問 福岡市では、在宅避難者などへの迅速かつ的確な支援のため、避難者が行政に被災状況や支援要望を発信できる防災アプリを導入している。区も導入を検討せよ。

副区長 先進自治体の取組を学び、重層的な支援体制を検討していく。重症心身障害者への住宅支援

質問 区内には重症心身障害者向けグループホームが少なく、入居待機者が民間住宅を借りてルームシェアする居住形態が増えている。住宅物件の確保などを支援せよ。

障害福祉部長 国や都の動向を踏まえ情報収集や課題整理に努める。日本文化に触れる機会の創出

質問 多文化共生社会の進展を踏まえ、区が創設した教材「日本語」を通じて日本や世田谷の文化を体験できる場を整えるべきだ。区立図書館に専用コーナーを設置せよ。

警察・交通安全課 教材「日本語」に関する資料の更なる充実を努める。バス停の上屋整備の促進

質問 酷暑対策としてバス停の上屋整備を促進すべきだ。区道上のバス停で設置可能な場所を調査し、区主導で計画的な設置を目指せ。

道路・交通計画課 バス事業者と協議し計画的かつ着実な整備を進める。資源循環センターの機能拡充

質問 区内で回収したガラス瓶の中間処理を担う資源循環センターの機能を強化すべきだ。処理能力などの拡充に向け、世田谷清掃工場の建て替えに合わせ増設せよ。

副区長 今後の回収量の推移を見ただ上で慎重な判断が必要と考える。立憲民主党世田谷区議員



立憲民主党世田谷区議員
桜井 純子

公契約条例の意義を踏まえた取組

質問 公契約条例で定める労働報酬下限額が8年度に100円に達することは地域全体の賃金水準の上昇にも奇異し大変意義深い。今後とも条例に基づき取組を確実に進めよ。

財務部長 条例が掲げる理念の実現に向け実効性の確保に取り組む。誰もが住み続けられる住宅政策

質問 世田谷に愛着を持つ全ての区民が区内に住み続けられるよう、支援すべきだ。公的住宅の整備や家賃への補助など、住まいの確保に向けた支援策を着実に展開せよ。

技監 空き家の活用など多角的な視点で住宅政策を検討していく。全ての子どもの権利保障

質問 子どもの権利保障の実現にはインクルーシブな視点が不可欠だ。子どもの意見表明の場づくりは障害の有無などにかかわらず全

ての子どもの参加を念頭に進めよ。

副区長 全ての子どもが特性に合わせて参加できる環境を整える。プラスチック分別収集の施策展開

質問 プラスチック分別収集の開始に当たり従事者を単に回収業務を行うだけの役割とせず、地域で環境事業を担う一員と捉えて施策を展開すべきだ。区の見解を示せ。

清掃・リサイクル課 地球環境の守り手としての意識を持つよう取り組む。まちづくりの今後の進め方

質問 千歳烏山駅前の高層マンション建設は地域コミュニティの希薄化などを招くおそれがある。再開発の影響を踏まえ、区は今後のまちづくりをどう進めるのか。

技監 多様な主体の意見を事業者などと共有しまちづくりを進める。恵泉通りの土地収用への区の姿勢

質問 恵泉通りの土地収用は強行に進めず、当事者の思いに寄り添う姿勢を貫くべきだ。地域特有の自然環境の保全など当事者が納得する提案を行い合意形成に努めよ。

区長 引き続き対話を諦めることなく、早期開通に向けて取り組む。災害対策における女性の活躍推進

質問 区は災害対策に女性の視点を取り入れるため女性防災リーダーを養成している。地域防災の担い手として活躍できるように、防災士の資格取得を支援せよ。

危機管理部長 防災士認証登録支援制度の対象とするよう検討する。平和の継承に向けた事業展開

質問 8年度に開始する区立中2年生の広島への派遣事業は現地で平和学習を次世代に語り継げる仕組みとすべきだ。展望を示せ。



改革無所属の会
大庭 正明

本庁舎整備に係る区長の判断

質問 本庁舎整備において、区長が「区民会館の保存」にこだわった結果、難工事となり工期が遅れた。なぜそのような判断をしたのか。

区長 審査委員会の選定結果や区民意見などを踏まえ方針を決めた。区長の選挙公約に対する疑義

質問 区長は退職金の廃止を掲げ初当選したが、2期目以降は激務を理由に退職金を受け取っている。区長は職務を見誤ったのか、または当選目的で公約に入れたのか。

区長 激務と負担に鑑み2期目以降の選挙では公約に掲げていない。区の道路事業に対する懸念

質問 区の道路事業では、防災上の危険箇所を区民と共有した上で整備の優先順位をつけ、判断の期限や手順を明確にする視点が欠けている。今後どう改善を図るのか。

区長 地域などへ丁寧に説明するとともに適時適切な判断を行う。参加と協働に対する区長の見解

質問 参加と協働は区民の意思を区政に反映させる上で不可欠だが、その後どう政策に反映したのかを見える形で示すことまで責任を持つて取り組むべきだ。見解を示せ。

区長 参加と協働を基盤に、目に見える形で地域課題を解決に導く。区長宅の接道に関する是正指導

質問 区長は自宅敷地の接道に関する是正指導を受けていないと主張するが、現況確認は求められたと言いつ。それが是正指導ではないか。

区長 多摩建築指導事務所には是正指導ではないことを確認している。区長の政治姿勢の転換疑惑

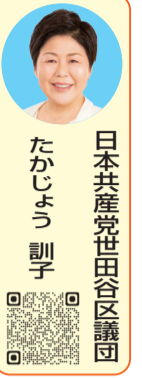
質問 区長は大型開発優先からの転換を公約したが千歳烏山駅前の再開発事業で約140mのマンション建設を認めた。矛盾していないか。

区長 大型開発の取扱いではないため、いわゆる宗旨替えではない。

代 表 質 問



代表質問、一般質問の模様を
ホームページで録画配信しています。
世田谷区議会 議会中継 で検索！



日本共産党世田谷区議員
たかじょう 訓子

衆院選の結果に対する区長の見解

質問 さきの衆院選で自民党が単独で3分の2を超える議席を得たことで憲法9条改正をはじめ平和を脅かす危機感が高まっている。選挙結果への区長の見解を示せ。

区長 9条改正は平和国家としての根幹に関わり議論が不可欠だ。物価高から区民を守る施策の充実

質問 物価高騰が長期化する中、既存の行政サービスの提供だけでは低所得者の負担は増すばかりだ。医療や保育、教育など様々な分野で低所得者への支援策を充実せよ。

区長 区民の暮らしを守るため低所得者への支援などを充実する。マンシヨンの防災組織の形成促進

質問 マンシヨンの防災共助促進事業の実施を機に居住者の防災意識を高めるべきだ。本事業を活用したマンシヨンの防災学習会などを開催し、防災組織の形成を促せ。

危機管理部長 講演会の実施などで防災区民組織の結成促進を図る。保育待機児童の解消に向けた対策

質問 8年度は保育待機児童の激増が見込まれており対策は急務だ。保育士確保への支援を行い保育の質を担保すると同時に認可保育園を増設し待機児童の解消を進めよ。

子ども・若者部長 認可園の整備を進めつつ、保育人材の確保に努める。都市計画道路整備の見直し

質問 道づくりは参加と協働の下で進めるべきだ。住民の合意形成が進まない補助52号線などの道路計画は区民と廃止を検討せよ。

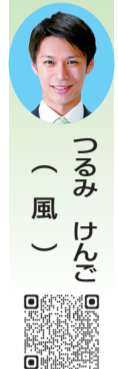
副区長 都が事業に着手する際は、地域住民への丁寧な説明を求める。くるりんバスの空白時間への増便

質問 祖師谷・成城地域を循環する「くるりんバス」は10〜11時台などに一本も運行がなく不便との声を聞く。事業者へ増便を求めよ。

道路・交通計画部長 サービス水準の維持、回復に向け粘り強く取り組む。

一般質問

2月19日及び20日の本会議では、30名の議員が区政をめぐる諸課題について質問を行いました。その一部を要約してお伝えします。



つみやま けんじ (風)

議会を軽視する区の姿勢への疑問

質問 区長がさきの議会で表明した「高齢者が大切にされる場づくり」などの取組が8年度予算に十分反映されていない。なぜ議会で表明したことを実行できないのか。

答弁 庁内の連携不足や業務量の逼迫などが原因として挙げられる。高齢者の居場所づくりの展望

質問 高齢者の居場所づくりは孤立防止に資する重要な取組であり、安易に民間事業者に任せず、区が責任を持つて進めるべきだ。今後どのように施策展開を図るのか。

答弁 参加と協働の地域づくりに向け多様な居場所の整備を進める。いじめを行った児童生徒への対応

質問 いじめを受けた児童生徒が安心して学校に通えるよう、いじめを行った児童生徒に対して別室登校や出席停止の措置を適切に講じるべきだ。区の見解を示せ。

答弁 いじめ防止に係る条例制定に向けた議論の中で検討を進める。包括管理業務委託の実効性の担保

質問 学校施設の包括管理業務委託の実効性を担保すべきだ。地域をよく知る区内事業者への再委託状況などを継続的に点検し、運営事業者に着実な改善を働きかけよ。

答弁 定期的に状況を確認し運営事業者と意見交換や協議を重ねる。不登校支援の情報発信

質問 情報格差是正に向け学校内外で実施する不登校支援の取組を家庭に分かりやすく伝えるべきだ。相談から支援につながるまでの手順を明確化し、丁寧に周知せよ。

答弁 相談機関の役割や連絡方法支援内容の周知などに努めていく。せたがやPayの利用拡大

質問 せたがやPayの更なる利用拡大を目指すべきだ。スマホ操作が苦手な方が安心して利用できるように支援するとともに、加盟店が少ない地域への対策を強化せよ。

答弁 新規利用者や加盟店の増加に資する効果的な施策を展開する。高次脳機能障害者の通所先確保

質問 高次脳機能障害者の通所先確保は本人や家族の日常生活を支える上で必須だ。施設が極端に不足する現状に鑑み、整備手法や時期など具体的な計画を明示せよ。

答弁 次期障害施策推進計画の策定の中で整備の考え方を検討する。浸水対策費用助成制度の創設

質問 豪雨災害が頻発する今、障害者・高齢者・子どもが通う施設への浸水対策は喫緊の課題だ。止水板設置や排水対策に係る工事費などを支援する助成制度を創設せよ。

答弁 まずは新たに始める止水板設置などへの補助制度を周知する。旧都立玉川高校跡地の活用

質問 玉川高校跡地は図書館や児童館など多世代が利用できる複合施設と豪雨時の雨水貯留機能を持つ拠点として整備すべきだ。具体の構想を描き都と協議を進めよ。

答弁 区の考えをまとめ時期を逸することなく都へ要望し協議する。一時保護所の環境改善

質問 区の一時的保護所は建物が古く狭あいであり子どもが心身を回復するのに適した施設とはいえない。子どもの権利と最善の利益を最優先に安心できる環境を整えよ。

順を明確化し、丁寧に周知せよ。

質問 相談機関の役割や連絡方法支援内容の周知などに努めていく。せたがやPayの利用拡大

質問 せたがやPayの更なる利用拡大を目指すべきだ。スマホ操作が苦手な方が安心して利用できるように支援するとともに、加盟店が少ない地域への対策を強化せよ。

答弁 新規利用者や加盟店の増加に資する効果的な施策を展開する。高次脳機能障害者の通所先確保

質問 高次脳機能障害者の通所先確保は本人や家族の日常生活を支える上で必須だ。施設が極端に不足する現状に鑑み、整備手法や時期など具体的な計画を明示せよ。

答弁 次期障害施策推進計画の策定の中で整備の考え方を検討する。浸水対策費用助成制度の創設

質問 豪雨災害が頻発する今、障害者・高齢者・子どもが通う施設への浸水対策は喫緊の課題だ。止水板設置や排水対策に係る工事費などを支援する助成制度を創設せよ。

答弁 まずは新たに始める止水板設置などへの補助制度を周知する。旧都立玉川高校跡地の活用

質問 玉川高校跡地は図書館や児童館など多世代が利用できる複合施設と豪雨時の雨水貯留機能を持つ拠点として整備すべきだ。具体の構想を描き都と協議を進めよ。

答弁 区の考えをまとめ時期を逸することなく都へ要望し協議する。一時保護所の環境改善

質問 区の一時的保護所は建物が古く狭あいであり子どもが心身を回復するのに適した施設とはいえない。子どもの権利と最善の利益を最優先に安心できる環境を整えよ。

答弁 課題を整理しながら抜本的な環境改善の方策を検討していく。尾山台地区の水害対策の強化

質問 尾山台地区では豪雨による浸水被害が続いており、対策は急務だ。水害が頻発する道路に面する尾山台中に雨水貯留施設を設けるなど、抜本的な対策を講じよ。

答弁 学校改築の機会を捉えて、雨水貯留槽の設置などに取り組む。倒木の未然防止策の推進

質問 公園や道路での倒木事故が全国で多発しており、樹木の適切な管理が求められている。区は老木化が進んだ街路樹などについてどのような対応を行っているのか。

答弁 巡回点検などを行い異常がある際には必要な対応をしている。農業を活用した食育の推進

質問 農業に触れる機会は子どもの心身の健康に寄与し、食べ物への感謝の心を育む食育としての効果が期待できる。食育の推進に向け、区内農地の活用を進めよ。

答弁 食育につながるよう農家などと連携してしっかりと取り組む。ひとり親家庭が置かれた現状

質問 ひとり親家庭は経済的困難や孤立感などを抱えやすく、昨今の物価高で生活の負担は更に増大していると考えられる。区はこうした現状を十分把握しているのか。

答弁 実態調査を実施し、支援の充実に向けた取組を進めている。ひとり親家庭へのプッシュ型支援

質問 困難を抱えるひとり親家庭が確実に支援を受けられるよう工夫すべきだ。該当世帯に区の支援施策の情報などを自動的に届けるプッシュ型の仕組みを構築せよ。

答弁 プッシュ型で情報を提供し安定した生活基盤の構築を支える。学校での子どもの紫外線対策

質問 紫外線から子どもの目を守るためには屋外活動が多い学校生活での対策が重要だ。サンングラスなどの紫外線対策について、教育

委員会が指針を示す考えはあるか。

答弁 対策グッズの使用に制限はないため各校に柔軟な判断を促す。子どもの通学路の安全確保

質問 教育委員会では通学路の安全を確保するため危険箇所の点検を行っているが、点検後に改善されなければ意味がない。土木部と連携し速やかに安全対策を講じよ。

答弁 点検段階から連携を行い安全な登下校環境の整備に努める。虐待サバイバーへの支援の強化

質問 幼少期に虐待を受けた方々は長期にわたり複合的な生きづらさを抱えていることが少なくない。こうした方々の様々な困り事を包括的に支援できる体制を整えよ。

答弁 専門医からの助言などを通じて相談窓口の対応力を向上する。保育待機児童対策の実効性の担保

質問 8年4月入園において待機児童数の大幅な増加が見込まれる。子育てと仕事の両立の障壁となる待機児童問題を重要課題として上位計画に位置づけ全庁で対応せよ。

答弁 次期実施計画の策定の際に、改めて関係所管で調整し検討する。学校での健全な財務運営の実現

質問 学校物品をPTAからの寄付や教職員が自腹で賄う現状を是正すべきだ。学校に予算の権限を一部移譲し、現場の裁量を柔軟に物品を購入できる仕組みを整えよ。

答弁 予算制度上の制約も考慮し、現場の声を聞き慎重に検討する。電話対応のデジタル化の推進

質問 電話対応をデジタル化し、行政の効率化を図るべきだ。要件を一度で確実に届けられるショートメールの活用や24時間365日対応可能な電話窓口のA-I化を進めよ。

答弁 導入を検討しており、様々な情報をFAQとして充実させる。三軒茶屋駅周辺の環境美化

質問 三軒茶屋駅周辺はごみなどのポイ捨てが多いが、清掃は地域住民任せで区の財政支援もない。清掃活動への支援制度を創設するとともに区も主体的に清掃を行え。

答弁 美化活動の充実に向け地域団体への支援の在り方を検討する。三軒茶屋駅周辺の客引き対策

質問 三軒茶屋駅周辺は多くの飲食店が立ち並び夜遅くまでにぎわう一方、違法な客引き行為への不安の声が高まっている。警察と協力して、巡回や声かけを強化せよ。

答弁 必要に応じて、警察にパトロールの強化を働きかけていく。硬式少年野球が行える場の拡充

質問 硬式少年野球場の拡充を求めたのに対し、区はスポーツ施設を新設する際に様々な競技が行えるよう整備すると答えた。既存施設の多目的利用も着実に進めよ。

答弁 立地条件などの課題はあるものの機会を捉え積極的に進める。学校での快適なトイレ環境の整備

質問 子どもが快適な学校生活を送る上でトイレ環境の改善は重要であり洋式化と温水洗浄便座の設置を進める自治体は多い。区も改善を待たずに全校で導入を進めよ。

答弁 トイレ改修に合わせて温水洗浄便座の設置を検討していく。清潔な公衆トイレの整備

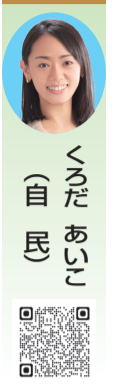
質問 公衆トイレは誰もが心地よく使えるよう清潔な状態を保つべきだ。区が公園トイレに設置した臭気や汚れを洗浄する装置の効果検証も踏まえ、今後の方策を示せ。

答弁 日常管理を徹底しながら、最新技術の研究や検証を進める。区立小中学校への冷水機の設置

質問 私は学校での熱中症対策に有効な冷水機の設置を求めてきたが、実現しないまま10年が経過した。昨今の命に関わる酷暑を踏まえ、早急に全小中学校へ設置せよ。

答弁 全ての小中学校に1学期中に設置できるよう準備を進める。

問 質 一 般



くろだ あい
(自 民)

保育園における1歳児定員の確保

質問 認可保育園への8年4月入園の申込者数は過去最大の674人に上り、定員を大きく上回る状況だ。特に不足している1歳児定員の確保に向けた対策を早急に講じよ。
答弁 施設整備による定員確保に努め既存施設への支援も検討する。
保育に関する情報提供の改善

質問 保育園の入園に関する情報は保護者にとって非常に重要だが、区からの情報提供は分かりづらく、誤った解釈で不安を抱く方も少なくない。分かりやすく改善せよ。
答弁 ホームページを適宜見直すとともに一層丁寧な説明に努める。
住み替え応援事業の見直し

質問 地域の活力向上を目的とする住み替え応援事業は、地域活動に関心の低い二世帯が利用できない仕組みとすべきだ。町会自治会への加入を利用条件とせよ。
答弁 町会の周知啓発を行うなど、事業の趣旨に沿うよう誘導する。



若林 りさ
(維 新)

商業施設への期日前投票所の設置

質問 世田谷では期日前投票所の設置が区施設に限られている状況だ。区民が生活動線上で気軽に投票できるよう、他区の例に倣い民間商業施設への設置を検討せよ。
答弁 施設の借用料などの課題も多く引き続き設置の可能性を探る。

国民健康保険料の前納制度の導入
質問 新宿区は8年度より国民健康保険料に加入する外国人などを対象に保険料の前納制度を開始する。納付率向上と滞納防止に資する効果的な取組であり、区も導入せよ。
答弁 他自治体の状況やシステム開発などを踏まえ、検討していく。

狂犬病予防注射の接種率の向上策
質問 飼い犬へ狂犬病予防注射を行うっていない飼い主に対し、より実効性のある督促を実施すべきだ。

該当者にプッシュ型で通知できるショートメールなどを活用せよ。
答弁 電話番号の把握などの課題もあり他自治体の状況を注視する。



中塚 さちよ
(立憲無)

シニア世代の収入増支援

質問 シニア世代が退職後個人事業主として働くことで手取り増加が望める。法的知識の不足から不利な契約を結ぶことのないよう、フリーランス法の周知啓発を図れ。
答弁 シニア向けの就労セミナーで周知するなど取組を進めていく。
障害者の就労支援に資する取組

質問 株式会社就労支援事業所に通う障害者から社会復帰に向け利用を増やしたいが交通費の負担が大きいとの声を聞く。法人の種類で差別せず交通費を補助せよ。
答弁 利用者支援の観点から、事業所への支援の在り方を研究する。
地域経済を支える外国人材の支援

質問 人手不足の中、外国人労働者は地域経済の支え手として不可欠だ。公正な労働条件の下で働くことができるよう、労働法や公契約条例などを丁寧に周知啓発せよ。
答弁 セミナーで条例の内容を伝えるなど外国人の就労を支援する。



川上 こういち
(共 産)

樹木を生かした気候危機対策

質問 過去の議会で、気候危機対策を進めるための指標として、樹木の枝葉で覆われる面積の割合を示す樹冠被覆率の採用を強く求めた。その後の検討状況を示せ。
答弁 樹木の樹冠被覆の現状や経年変化について分析を進めている。

住民参加による等々力溪谷の保全
質問 等々力溪谷の危険木を処理するに当たり、ふるさと納税で寄附を募ったところ多くの賛同が得られたと聞く。これを機に住民参加による環境保全の取組を強めよ。
答弁 魅力向上などに努め広く参加いただける環境づくりを進める。

区営住宅に入れない方への支援

質問 区営住宅の応募倍率は14倍と非常に高く、入居できない方は経済的に厳しい生活を強いられている。こうした方々が安心して暮らせるよう、家賃補助を実施せよ。
答弁 まずはニーズに即した区営住宅の供給について検討を進める。



佐藤 正幸
(自 民)

世田谷の桜の保全

質問 数年で桜を枯死させる害虫「クビアカツヤカミキリ」の脅威が区にも迫っている。世田谷の桜を守るため対処マニュアルの整備や近隣自治体との連携を検討せよ。
答弁 早期対応に向けて対応手順をまとめたマニュアルを作成する。
桜の保全に係る実効性の担保

質問 せたがや百景に選定されるなど区内の桜の多くは区民から愛されている存在だ。改定される風景づくり計画ではどのように位置づけ保全の実効性を担保するのか。
答弁 区民主体の取組の重要性を位置づけ担い手の確保を促進する。
桜の保全に向けた区長の決意

質問 多くの区民に親しまれている桜のある風景は世田谷の貴重な財産であり、害虫の脅威から絶対に守らなければならない。桜の保全に向けた区長の決意を示せ。
答弁 区が一丸となり区民と共にしっかりと守る体制を構築していく。



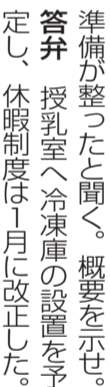
上川 あや
(自 民)

指定管理者のLGBT対応が酷い

質問 区立施設の運営を担う指定管理者の大半が同性ペアの職員に処遇の平等を確保しないなど、区ガイドラインの実効性欠如は明らか。区は改訂の必要性を認めるか。
答弁 実効性が不十分であり、ガイドラインの改訂などに取り組む。
星の観察を楽しめる屋上庭園へ
質問 新庁舎の屋上庭園整備にあたり、街路灯などの光が目に入らない星空の観察しやすい庭園整備

を議会で求めたが、その後の整備状況と実現への意気込みはどうか

答弁 事業運営委員会を検討し区民に喜んでもらえる運営を目指す。
母乳育児可能な職場環境の整備
質問 さきの議会で出産後、職場復帰した職員が安心して搾乳でき、母乳育児を続けられる環境整備と育児時間の弾力運用を求めたが、準備が整ったと聞く。概要を示せ。
答弁 授乳室へ冷凍庫の設置を予定し、休暇制度は一月に改正した。



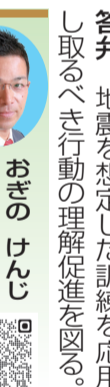
オルスグル
(日本愛)

警報後の情報補完と多言語対応

質問 緊急時に国が配信するJアラートは日本語のみであり情報補完が重要だ。国籍を問わず区民に情報が届くよう、多言語対応やアプリ周知を含む体制整備を進めよ。
答弁 必要な情報が届くよう、多言語での情報提供などにも努める。
避難所運営の実効性と公平性

質問 有事の避難所や物資配布の現場では国籍や文化的背景の違いなどから混乱が生じ得る。国籍を問わず区民に不利益が生じぬよう、配慮を踏まえ運営体制を整備せよ。
答弁 外国人を要配慮者として位置づけ必要な支援体制を整備する。
有事に備えた初動訓練の実施

質問 武力攻撃事態などの有事に備え、平時から初動対応を確認すべきだ。国籍を問わず全区区民を対象とした実践的なシミュレーションを防災訓練に段階的に組み込めよ。
答弁 地震を想定した訓練を応用し取るべき行動の理解促進を図る。



おぎの けんじ
(維 新)

区組織の著しい劣化への懸念

質問 区では重大な事務的ミスや議決前の事業の告知、緊急性のない案件の補正予算への計上などが相次いでおり、ガバナンス欠如と議会軽視が著しい。即刻改善せよ。
答弁 不断の改革を進め、信頼を得られる区政の実現に尽力する。

区の産業活性化拠点の問題点

質問 ホームワークビレッジには急成長フェーズの企業を支える視点が決定的に欠けている。スケールアップ支援の充実を図るとともに、実効性を測る指標を設定せよ。
答弁 成長度合いに応じた支援策の充実などを検討し、改善を図る。
マンションへの保育所設置の促進

質問 マンションの開発事業者と連携し保育待機児対策と住宅政策を一体で進めるべきだ。容積率の緩和などのメリットを設け新築マンションへの保育所の設置を促せよ。
答弁 先行自治体の状況を把握し、必要な誘導を図れるよう取り組む。



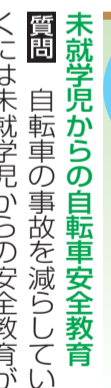
神尾 りさ
(国 際)

子どもの権利を尊重した教育実践

質問 桜町小では「はじめに子どもありき」の理念を基に、子どもが教師と共に主体的に学びを探究する活動が3年間実践されてきた。本取組の意義と今後の展開を示せ。
答弁 子どもの権利条例を具現化した意義深い取組であり拡充する。
災害関連死の未然防止への取組

質問 避難生活などにおける身体的・精神的負担に起因する災害関連死を未然に防ぐには、保健師の役割の強化とともに平時からの備えが肝要だ。区の取組方針を示せ。
答弁 防ぎ得る死であり効果的な予防に向けマニュアルを更新する。
公共建築物のZEB化の推進

質問 省エネと創エネで一次エネルギー消費量をゼロに近づける区内初の「Nearley ZEB」を弦巻中学校舎で達成見込みだ。成果を今後の公共建築物へ生かせよ。
答弁 課題を整理しつつ、公共建築物のZEB化を一層推進する。



ひうち ゆき
(世田谷)

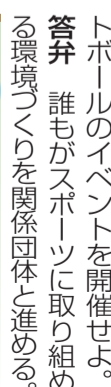
未就学児からの自転車安全教育

質問 自転車の事故を減らしていくには未就学児からの安全教育が大切だ。遊びながら交通ルールや

運転スキルを身につけられるデンマーク式の安全教室を実施せよ

答弁 内容や会場の検討を含め実施に向け関係部署で協議を進める。
死亡後の手続のワンストップ化
質問 死亡後の手続は多岐にわたる、相続については区窓口では対応できない。遺族の負担を減らすため、行政書士と連携しワンストップで手続できる体制を整えよ。
答弁 行政書士会へつなげるなど、不安や負担の軽減に向け検討する。
障害者のスポーツ機会の確保

質問 人間形成に加え障害者の心身の健康にも資するスポーツの機会を充実すべきだ。目黒区に倣い、知的障害者を対象としたバスケットボールのイベントを開催せよ。
答弁 誰もがスポーツに取り組みやすい環境づくりを関係団体と進める。



ひえします けん
(改 革)

民泊の苦情対応に民間活用を

質問 民泊に関する騒音やごみ出しなどの苦情に対し、区の反応が遅いとの声を聞く。迅速に対応する人員の確保が困難ならば、民間への委託も検討すべきではないか。
答弁 8年度から苦情の現場確認や事前相談業務を委託する予定だ。
ごみ袋有料化に区は賛成か

質問 都知事が記者会見で23区のごみ袋有料化を進めたいとの意向を示したが、物価高騰で家計が逼迫する中で区民に更なる負担を強いるのは反対だ。区の見解を示せ。
答弁 ごみ減量への選択肢の一つとして慎重に検討、研究を進める。
区長の総理批判ははじめを助長

質問 区長は先般の衆院選で高市総理がケガでNHKの討論番組を欠席したことを自身のSNSで非難したが、区長の言動ははじめを助長しかねない。謝罪し撤回せよ。
答弁 いじめを助長するようなことには当たらないと考えている。



問 質 一 般



関口 江利子
(生 ネ)



高次脳機能障害者への支援の充実

質問 8年4月に高次脳機能障害者支援法が施行される。当該法律に基づき障害特性に寄り添った支援ができるよう、多機関連携に向けた調整など必要な準備を進めよ。
答弁 国や都から示される通知などを踏まえ支援の充実に取り組み、**教員が安心して働ける環境づくり**

区立中で生徒の暴言により教員が休職する事案が発生した。

質問 区立中で生徒の暴言により教員が休職する事案が発生した。心理的な暴力を含めトラブルが生じた際に教員を守るよう、学校が組織的に解決を図る体制を築け。
答弁 学級で生じた問題に組織的に対応するよう校長会で指導する。**災害時のごみ収集体制の強化**

発災後の迅速なごみ収集は生活再建や衛生保持に極めて重要だ。

質問 発災後の迅速なごみ収集は生活再建や衛生保持に極めて重要だ。現場の混乱を避けるためごみ収集を時系列でシミュレーションし実効性の高い行動計画をつくれ。
答弁 災害時のごみ収集計画が実践的なものとなるよう検討する。



岡川 大記
(参政党)



外国人の増加を踏まえた区政運営

質問 外国人住民が増える中、行政が受入れ規模を管理せず、成り行きに任せるのは責任放棄にほかならない。区は受入れの限界値を定めて、施策を設計しているのか。
答弁 外国人を含めた人口推計などを勘案して政策を立案している。**区営住宅に住む不法滞在者の調査**

区は外国人が区営住宅に入居する際には在留資格を確認する

質問 区は外国人が区営住宅に入居する際には在留資格を確認する一方、入居以降は定期的な確認を行っていない。在留期間を過ぎた不法滞在者の有無を全件調査せよ。
答弁 他区の検討状況なども把握した上で実施について検討する。**在宅育児支援の充実**

長時間保育が子どもの心身の育成に与える影響を考慮し、子どもが親と過ごす時間の価値を重視した在宅育児支援に力を注ぐべきだ。

質問 長時間保育が子どもの心身の育成に与える影響を考慮し、子どもが親と過ごす時間の価値を重視した在宅育児支援に力を注ぐべきだ。子育て支援への考えを示せ。
答弁 保護者や子どもの状況などを総合的に勘案し支援に取り組む。

視した在宅育児支援に力を注ぐべきだ。子育て支援への考えを示せ。
答弁 保護者や子どもの状況などを総合的に勘案し支援に取り組む。



坂本 みこ
(共 産)



区民への誤解を招く案内の改善

質問 マイナンバーカードの取得は任意であるにもかかわらず、区では申請手続の添付書類として求めるケースが散見される。申請に必須との誤解を招く案内は改めよ。
答弁 他の書類などで足りることを明確に案内できるよう取り組む。**区内の性被害の状況**

区は2025年4月に犯罪被害者等支援条例を施行し、支援の充実に取り組んでいる。

質問 区は2025年4月に犯罪被害者等支援条例を施行し、支援の充実に取り組んでいる。とりわけ被害者に関する相談が多いと聞くが、具体的にどのような状況なのか。
答弁 1月までに延べ207件の犯罪被害者の相談があり75件が該当する。**主要生活道路17号線整備の見直し**

区は次期道づくりプランで主要生活道路17号線の一部を準優先整備路線に位置づける方針だ。

質問 区は次期道づくりプランで主要生活道路17号線の一部を準優先整備路線に位置づける方針だ。防災面での効果は薄く歩行者の安全性も担保されないため見直せ。
答弁 プラン策定後に事業化を図る際は地域へ丁寧な説明を重ねる。



佐藤 美樹
(国 都 民)



投票率向上への創意工夫の取組

質問 さきの衆院選では、入場整理券のほがき形式への変更や選挙区を記した案内チラシの全戸配布など工夫がなされた。投票率向上に寄与した取組は今後にも生かせ。
答弁 選挙区に関し、より分かりやすい情報提供の方法を検討する。**マイナンバーカード更新の迅速化**

マイナンバーカードの更新に時間を要し、有効期限が切れる事態が懸念される。

質問 マイナンバーカードの更新に時間を要し、有効期限が切れる事態が懸念される。この場合の代替措置を広く周知することにも、カード交付の迅速化にも尽力せよ。
答弁 代替措置の区民周知に努め、業務効率化で迅速な交付を進める。

学習活動へのイヤホンの活用

質問 読み書きが苦手な子どもへの支援に自動読み上げ機能を有するアプリの活用が有効であり、タブレット端末と併せてイヤホンの導入が必要と考える。見解を示せ。
答弁 今後様々な学習活動にイヤホンを活用したいと考えている。



原田 電馬
(立憲無)



ウォールアートの積極的な導入

質問 壁面を生かした芸術「ウォールアート」は情緒的価値に加え、まちの魅力向上に資するものだ。他自治体の取組事例も参考にしながら公共空間への導入を推進せよ。
答弁 計画的に推進するには適地の選定など課題が大きいと考える。**スポットワークを通じた就労支援**

好きな時間に単発で就労できるスポットワークは、働くことに困難を抱える若者などの就労促進につながる有効な取組だ。

質問 好きな時間に単発で就労できるスポットワークは、働くことに困難を抱える若者などの就労促進につながる有効な取組だ。事業者と連携を図り、就労を支援せよ。
答弁 先行事例を参考に事業者との連携への可能性を検討していく。**生活困窮世帯の若者への支援**

区は生活困窮世帯の高校生などへの学習支援事業「まなラボ」を開始した。

質問 区は生活困窮世帯の高校生などへの学習支援事業「まなラボ」を開始した。事業を利用した若者の生活が安定するよう、一定期間見守る伴走型の支援を実施せよ。
答弁 支援情報を案内し相談に乗るなど、関係性を継続していく。



畠山 晋一
(自 民)



自己管理能力を育てる教育の推進

質問 ネットの長時間利用により心身の健康や学習意欲への影響が懸念される。ICT教育において依存のメカニズムへの理解促進や、自己管理能力の育成に注力せよ。
答弁 学校ではICTリテラシーについて継続的に指導している。**おたふく風邪ワクチン接種の助成**

おたふく風邪に罹患すると合併症として回復困難なムンプス難聴を発症するおそれがある。

質問 おたふく風邪に罹患すると合併症として回復困難なムンプス難聴を発症するおそれがある。子ども

子どもの健康を最優先に考え、ワクチン接種を全額公費負担とせよ。

質問 国が定期接種化を検討中で、現時点では一部助成としている。**地域医療を担う区内病院への支援**

都の調査によると都内病院の約7割が医療赤字を抱えており、緊急対応が必要な状況だ。

質問 都の調査によると都内病院の約7割が医療赤字を抱えており、緊急対応が必要な状況だ。地域医療の担い手である区内病院の機能維持に向け区はどのように支援するのか。
答弁 国や都の動向を踏まえつつ、必要な支援の検討を進めていく。**区組織内のハラスメント防止策**

区組織内のハラスメントを根絶すべきだ。

質問 区組織内のハラスメントを根絶すべきだ。発生防止に向け、職員から申出のあった全事案をハラスメント対策委員会で調査し事例を全庁で共有する体制を整えよ。
答弁 関係者のプライバシーに配慮しながら共有について検討する。**顧問教員によるハラスメント事例**

区立中で生徒が部活動引退後に民間クラブへ入会することに腹を立てた教員が、指導を拒否し志望校への進学を諦めさせる事案が発生した。

質問 区立中で生徒が部活動引退後に民間クラブへ入会することに腹を立てた教員が、指導を拒否し志望校への進学を諦めさせる事案が発生した。当該教員を処分せよ。
答弁 当該教員の指導や言動は不適切であり、厳正に対処していく。**区で相次ぐ金品亡失事故への対策**

区では金庫に保管していた生活保護費や区民が納めた税金などの亡失が相次いでいる。

質問 区では金庫に保管していた生活保護費や区民が納めた税金などの亡失が相次いでいる。真面目に働く職員を守るため、現金を扱う職場に防犯カメラを設置せよ。
答弁 複数の対策を講じてきたが、改めて設置について検討を進める。**セラ・サービス事業への区の対応**

産業振興公社が実施するセラ・サービスは区内中小企業で働く方に福利厚生を提供する魅力的な事業だが、会員数が減っている。

質問 産業振興公社が実施するセラ・サービスは区内中小企業で働く方に福利厚生を提供する魅力的な事業だが、会員数が減っている。この現状を踏まえ区の対応を示せ。
答弁 ニーズを捉えたサービスの充実を産業振興公社と検討する。

セラ・サービス事業の周知徹底

質問 セラ・サービスの会員が減少している要因として事業の認知不足が考えられる。会員の増加に向け、区施設に入会案内や会報誌を配架するなど積極的に周知せよ。
答弁 提案の取組などにより発信力の強化と制度の理解促進を図る。**セラ・サービス事業の活用促進**

中小企業がセラ・サービスを利用し福利厚生を充実することは従業員の満足度を高め、人材の定着にも資する。

質問 中小企業がセラ・サービスを利用し福利厚生を充実することは従業員の満足度を高め、人材の定着にも資する。この利点を区の事業を通じてPRし会員増を図れ。
答弁 区事業などを通して意義や魅力が広く浸透するよう取り組む。**おのみずき**

世界的な気候変動適応策の推進

質問 世界的な気候変動適応策の推進に影響を及ぼす今、気候変動への適応策を推進すべきだ。適応事例等を庁内外で共有する情報基盤を構築し区内での取組を後押しせよ。
答弁 適応情報を整理したサイトを構築し情報の共有などに努める。**困難を抱える女性への窓口対応**

区は女性支援に関する基本方針を策定したが職員に浸透しておらず寄り添った対応ができていない。

質問 区は女性支援に関する基本方針を策定したが職員に浸透しておらず寄り添った対応ができていない。方針に基づく窓口対応が徹底されるよう研修機会を拡充せよ。
答弁 8年度は特に福祉部門の職員に向けた研修を充実させる。**民間団体との協働による女性支援**

困難を抱える女性の中長期的支援には民間団体との協働とその持続的運営が不可欠だ。

質問 困難を抱える女性の中長期的支援には民間団体との協働とその持続的運営が不可欠だ。女性支援に係る国や都の補助事業を活用し、切れ目のない支援体制を築け。
答弁 官民協働での支援が重要であり、補助事業の活用を検討する。**ネット利用に潜むリスクへの認識**

デジタル機器の普及は子ども

質問 デジタル機器の普及は子ども

サービスに接触するリスクを伴う。学校現場における課題認識を示せ。

質問 川崎市では地域住民による協議会を主体に運行するコミュニティバス「あじさい号」が地域の足として定着している。これに倣い区も地域交通の整備に取り組め。
答弁 地域特性に応じた最適な運行形態の導入を鋭意検討していく。**空き物件を活用した経済活性化**

空き物件を地域資源と捉えて担い手を呼び込み、地域経済の活性化やコミュニティの再生に活用することは持続可能なまちづくりの点からも重要だ。

質問 空き物件を地域資源と捉えて担い手を呼び込み、地域経済の活性化やコミュニティの再生に活用することは持続可能なまちづくりの点からも重要だ。見解を示せ。
答弁 空き店舗も重要な地域資源として活用されるべきと考える。



「TEENAGE CARNIVAL 2026」の様子

会派等の意見

8年度予算を審査するため、49名の議員で構成する予算特別委員会を設置し、3月5日から3月23日の間、延べ7日間にわたり質疑を行いました。
ここでは、予算特別委員会での質疑や要望、今定例会最終日に表明された8年度予算に対する各会派等の意見の一部を要約してお伝えします。

本会議での意見表明者

自由民主党世田谷区議団…阿久津 皇
公明党世田谷区議団…高橋 昭彦
立憲民主党無所属世田谷区議団…原田 竜馬
改革無所属の会…桃野 芳文
日本共産党世田谷区議団…川上こういち
国民民主党アーストの会…そのべせいや
生活者ネット/世田谷区議団…おのみすき
シンボー世田谷…上川 あや
世田谷無所属…ひうち優子
世田谷刷新の会…おぎのけんじ
国際都市せたがや…神尾 りさ
せたがやの風…つるみけんご
参政党…岡川 大記
世田谷から日本を愛する会…オルズグル
日本維新の会…若林 りさ
無所属…青空こうじ

将来の行政需要を見据えて 持続可能な財政基盤を構築せよ

自由民主党世田谷区議団

(全ての会計に賛成する意見)



8年度の一般会計予算は過去最大の400億円を超える規模となった。社会情勢の変化に伴い行政の役割は拡大しているが、漫然とした予算の肥大化は厳に慎まなければならぬ。将来の行政需要に的確に对应される持続可能な財政基盤を構築するためにも、予算編成に当たっては新規事業の精査と既存事業の評価検証を徹底せよ。
また、円滑な区政運営には人材の育成と組織力の強化が不可欠だ。公金の紛失や補助金の算定誤りなどの事務的ミスが相次ぐ現状を是正するためにも、人材の育成に一層注力するとともに、職員の適切な業務執行を支える強固なガバナンス体制の構築を強く求める。
以下、我が会派が提言してきた個別の施策について意見を述べる。
まず、子ども・若者施策についてである。少子化による人口減少が深刻化する中、希望する全ての

人が安心して子どもを産み育てられる環境整備は不可欠であり、未来への投資としても極めて重要だ。8年度に相当数の保育待機児が発生する見込みから、保育ニーズを詳細に把握した上で定員の拡大や弾力化を進めるとともに、ベビーシッター利用支援事業を広く周知せよ。加えて、希望する家庭が在宅子育てを選択できるよう、4月から始まる一時預かり事業の無償化を周知徹底するなど、在宅子育てへの支援策をより一層充実せよ。
また、子ども・若者施策には出産から保育、就学、自立まで切れ目なく支える視点も必要だ。幼児教育と学校教育の円滑な接続を進めるとともに、学びの多様な学校「北沢学園中」の開校を機に不登校児童生徒の卒業後の進路にまで目を向けた支援策を設計せよ。

更に、児童相談所などでは虐待対応件数が増え続けており、要保護児童も一層増加すると見込まれる。既存施設を活用して早急に一時保護所を増設するとともに、職員の増強と体制の整備を図り、近い将来には要保護児童が安心して過ごせる一時保護所を新設せよ。
次に、定住施策についてである。区が8年度より開始する定住・住み替え応援事業は、僅か数十万円の交付金に区内での住宅購入や住み替えを促す効果があるのか甚だ疑問だ。区外転出の抑制効果などに関する明確な成果指標を設定し、達成状況を議会へ報告した上で事業の見直しや継続要否を判断せよ。
次に、災害対策についてである。地域防災力を高めるため、商店街などの地域主体と一体となりスタンプパイプの設置拡充や定期的な防災訓練の実施に取り組み。また、避難所運営においては備蓄の充実やトイレの改善などに注力せよ。
また、災害から区民の命を守るには医療提供体制の構築が重要だ。区内医師会や医療機関と連携して災害時の医療救護拠点の充実などを着実に進めよ。更に、人件費の

各施策の効果検証を重ねながら 需要に即したサービスを提供せよ

公明党世田谷区議団

(全ての会計に賛成する意見)



我が党が予算特別委員会でも取り上げた区政課題から最重要事項と考える7点について意見を述べる。
第1に稼ぐ公共についてである。これまで再三再四、税収や補助金に依存する姿勢を脱却し、自ら稼ぐことの意識を持ち公共空間を活用すべきと指摘してきた。この視点の重要性を再認識し、稼ぐ公共の実現に向けた取組を着実に進めよ。
第2に住宅施策についてである。子育て世帯などを対象とした定住・住み替え応援事業の実施に際しては、物価高が続く経済情勢の中で現役世代に響く施策となっていないか事業効果を常に検証せよ。また、区営住宅においては、都営住宅に倣い、若年夫婦や子育て世帯向け住戸の拡充に取り組み。
第3にせたがやPayの活用範囲の拡大についてである。公金を扱う窓口のキャッシュレス化を進

め、せたがやPayでの支払いを可能とせよ。また、高齢者向けの入浴券支給事業にせたがやPayを活用できるよう機能拡充を図れ。
第4に学習支援の見直しについてである。区は多様な学習支援を展開する一方、通塾が拠点かの二者択一となっている。支援を必要とする児童生徒に真に寄り添う事業になっているか検証せよ。また、通塾を希望しても長く続かない児童生徒に対し、伴走しながら通塾をサポートできるスタディクーポン事業の導入を検討せよ。
第5に災害対策についてである。避難行動要支援者の個別避難計画の実行性確保に向け、支援の担い手を増やせるよう地域団体との連携強化や支援者の負担軽減を図れ。また、被災者の生活再建を図る上では、一人ひとりに寄り添った災害ケースマネジメントに取り組み。

第6にがん検診の無料化についてである。がん検診の受診率が長年低迷する現状に鑑み、受診勧奨の強化に加え、検診料を無料化せよ。また、検診後の精密検査の受診率も低いため、受診しない要因を調査し、検査費用を助成せよ。
第7に担い手不足の解消についてである。区は所管ごとに地域活動などの担い手づくりを進めているが、効果的とは言い難い。民間のプラットフォームを活用し一元化を図るなど、より多くの方に協力してもらえらる仕組みを構築せよ。

誰もが包摂される社会を目指し 区民が信頼できる区政を実現せよ

立憲民主党無所属世田谷区議団

(全ての会計に賛成する意見)



区は8年度予算を「次世代を育む暮らし応援予算」として編成した。今日を安心して暮らすことができこそ次世代が育まれる。目の前の区民の生活基盤を支える区政運営を求め、意見を述べる。
犯罪被害者等相談窓口は障害者

も安心して相談できるよう合理的配慮を図れ。施設への入所ありきでなく、障害者本人の意思が尊重されるよう住まいと生活の自由を確保せよ。デートDVへの支援体制を強化せよ。月経が社会全体で理解されるよう啓発せよ。庁内連携の下であらゆる人権を保障する取組を進めよ。誰一人取り残さない社会の実現に向けヤングケアラーをはじめ子どもの孤立対策を強化せよ。医療的ケア児への移動支援を拡充せよ。障害者の人権保障の立場からグループホームのルールを改善せよ。千歳烏山駅前再開発計画には高層マンション建設に反対する住民の意見も十分に反映せよ。大規模災害に備え、通信環境を整備するとともに避難行動要支援者への支援に関する協定の締結先を増やせ。地域経済の発展に向け公契約条項で定める労働報酬下限額の遵守の徹底を図れ。中小企業への事業承継支援を強化せよ。バス路線の維持に向け人材確保策を充実せよ。学校に関わる全ての人へ真のインクルーシブ教育の実現に向けた啓発を行え。児童生徒が学校予算の使途の決定や学習アプリを選定できる仕組みを構築せよ。制服などの保護者の教育費負担を軽減せよ。教育委員会も主体となり教員の職場環境向上に取り組み。施策のアップデートに向け、全領域にデジタルプラットフォームを展開せよ。AI活用により得られた知見を区民に還元せよ。子育て・若者夫婦世帯に対する定住・住み替え応援事業は政策効果が不明瞭であるなど課題が多い。実効性ある事業へと改善を図れ。
区民に信頼される行政を目指し、税の使い道の透明化や予算編成に参画できる仕組みづくりを進めよ。

区長は筋違いな考えを即刻見直し 区民のためとなる施策を展開せよ

改革無所属の会

(一般会計には反対、その他の会計には賛成する意見)



我が会派は8年度一般会計予算に真っ向から反対する。その最たる理由は、予算特別委員会にて予算の組み替えを求めた「ずっと、世田谷」事業である。本事業は、区内在住の子育て・若者夫婦世帯の定住促進に向け、区内で住宅取得や賃貸住宅の住み替えを行う際に数十万円相当を交付するものだが、区の住宅価格から見ても定住効果が見込めるとは到底思えない。
このような矛盾をはらむ事業に対して他会派からも多くの反対の声が上がっている点を区長は真摯に受け止め、事業を早急に見直しせよ。
そのほかにも、申請者数が区の想定より大幅に少ない民間空襲被害者への見舞金支給事業や新型コロナ対策として実施した非科学的な世田谷モデルなど、区長が論理的な整合性もないまま思いつきで始めた事業は枚挙にいとまがない。そんな区長の姿勢が職員にも伝わったのか、区役所の規律の乱れが深刻だ。区民が納めた税金の亡失事故やハラスメント行為による懲戒処分などが相次いでいる。
以上のことを踏まえても保坂区長の区政運営は全く評価できない。



2月にリニューアルオープンした「梅丘図書館」



予算特別委員会の模様をホームページで録画配信しています。
世田谷区議会 議会中継 で検索!

令和8年度予算に対する

厳しい社会情勢を乗り越えるため
区民の暮らしを守る区政を進めよ

日本共産党世田谷区議団

（国保会計と後期高齢者会計には反対、一般会計と介護会計には賛成する意見）

8年度予算案に就学援助費の引上げやエアコン購入費助成などの低所得者対策を盛り込んだことを評価する。物価高が続く中、区民が安心して世田谷に住み続けられる施策の推進を求め以下提案する。

国保料の引下げに向け、一般会計からの繰入れの継続や区独自の軽減策を講じよ。区営住宅を増設せよ。定住・住み替え応援事業の制度設計を見直せ。祖師谷・成城地域を循環する「くるりんバス」の増便を事業者へ求めよ。千歳烏山駅前の再開発は実施を見送れ。都市計画道路は区民参加の下で廃止も含め検討せよ。恵泉通りの土地収用は行政代執行を強行せず当事者と丁寧に交渉せよ。樹木の安全管理を徹底せよ。学校施設の計画的な建て替えへの補助金を国へ求めよ。指定管理者の運営による図書館を増やす方針を改めよ。福祉困難ケースへの対応を強化せよ。国は2035年の生活保護費引下げの違法判決を踏まえ保護費を追加給付する。現在生活保護を利用していない方は自己申請が必要であるため、対象者に通知するとともに国へ大々的な広報を求めよ。

将来を見据えて予算を執行せよ

国民民主党・都民ファーストの会

（全ての会計に賛成する意見）

子育て世帯を含む現役世代の負担軽減と旧来型の制度の徹底的な見直しを求め、以下意見を述べ、ベビーシッター利用支援事業を含む待機児童対策の充実や強制的なPTA活動の是正、放課後等デイサービスの利用料無償化など、あらゆる子育て世帯の負担軽減に尽力せよ。事務の効率化を図るため

め電話対応のAI化や行政手続のオンライン化などを着実に進めよ。次世代を担う子どもを育む環境の充実に向けデジタル機器を用いた学習環境の整備や部活動における外部人材との連携などに取り組め。一部の学校で時代にそぐわない不可解なルールにより、子どもの個性が尊重されない現状を是正せよ。以上の取組の実現を求めるに当たり、議会活動においても議員記事の交付回数を見直すなど、不断の改革を進めていく所存である。

生活者ネットワーク世田谷区議団

（全ての会計に賛成する意見）

全庁的なジェンダー主流化の推進に向け、庁内での積極的な意識づけと理解促進を図れ。強固な福祉基盤の構築に向け、高次脳機能障害者への支援体制や介護人材の確保を強化せよ。猛暑による農作物の収量減少を食い止めるため気候変動適応策の支援を強化せよ。学校改築では環境負荷低減の観点で校庭の舗装材を選定せよ。災害時を見据え、ジェンダー公正・包摂の視点でトイレを整備せよ。千歳烏山駅南側の再開発事業は数多くの意見書を地域住民の生の声として重く受け止め、真摯に対応せよ。

区民が納め得る区政運営に臨め

世田谷刷新の会

（全ての会計に賛成する意見）

区が予算案で示した定住・住み替え応援事業は実効性に乏しく、保育施策との整合性も図られていない。まさに区民感覚を欠いた短絡的な事業であり容認できない。また、他自治体と比較し大幅に遅れている生成AI活用の拡大に向け、全庁的な意識改革を徹底せよ。強固な信頼関係で区政を進展せよ

国際都市せたがや

（全ての会計に賛成する意見）

区が展開する施策の発展に向け、活動の担い手や事業の対象者と強固な信頼関係を構築すべきだ。ロジャーズの三原則に基づく傾聴を重視して信頼関係の質を向上し、それぞれが持つ力を最大限発揮することで、区民一人ひとりの幸せにつながる区政運営を推進せよ。

区民が納め得る税金の使い道を決める予算編成の過程を公開することとは区の責務だ。区長は公開に後ろ向きな姿勢を改め、各部署からの事業提案や予算要求の内容、更には政策会議での議論の経過に至る

せたがやの風

無所属

（全ての会計に賛成する意見）

区民の安心と暮らしやすさを高める行政DXや防犯対策、子育て支援策は着実に推進すべきである。一方、定住・住み替え応援事業は住宅取得時の一時的な給付にとどまり継続的な定住促進につながるか疑問だ。実効性ある事業となるよう検証し、柔軟に改善せよ。

安全安心に暮らせる世田谷を築け

世田谷無所属

（全ての会計に賛成する意見）

自転車の安全対策の強化に向け、青切符制度の詳細を広く周知するとともに自転車専用レーンを着実に整備せよ。また、遊びながら自転車の乗り方やルールを学べるデモンマーク式自転車教室を幼稚園や保育園で開催するほか小中学生への交通標識教育などにも力を注げ。

区財政を管理から経営へ転換せよ

世田谷から日本を愛する会

（一般会計には反対、その他の会計には賛成する意見）

政策効果を伴わない定住・住み替え応援事業や、費用対効果の検証が不十分なコロナワクチン接種に財源を投じる予算案を改めよ。子どもを平等に支える視点に立ち、在宅子育て世帯への支援を充実せよ。二十歳のついで日本の歴史や文化を象徴する国歌を斉唱せよ。

日本維新の会

（全ての会計に賛成する意見）

税金を安定的に確保できるよう、世田谷の魅力を高めて定住者を増やせ。外国人住民との多文化共創に向け、医療、教育、行政サービスの多言語化などを進めよ。いじめ認知件数が増えている要因を分析し、再発防止に努めるなど子ども

未来を担う子どもを全力で支えよ

無所属

（全ての会計に賛成する意見）

平和教育の充実に向け、広島市への中学生派遣事業における成果を十分検証し、有意義な事業へと発展させよ。いじめ対策の推進に

まで区民と議会に分かりやすく示し、信頼できる区政を実現せよ。真に必要な施策に財源を配分せよ

参政党

（一般会計には反対、その他の会計には賛成する意見）

政策効果を伴わない定住・住み替え応援事業や、費用対効果の検証が不十分なコロナワクチン接種に財源を投じる予算案を改めよ。子どもを平等に支える視点に立ち、在宅子育て世帯への支援を充実せよ。二十歳のついで日本の歴史や文化を象徴する国歌を斉唱せよ。

区財政を管理から経営へ転換せよ

世田谷から日本を愛する会

（全ての会計に賛成する意見）

税金を安定的に確保できるよう、世田谷の魅力を高めて定住者を増やせ。外国人住民との多文化共創に向け、医療、教育、行政サービスの多言語化などを進めよ。いじめ認知件数が増えている要因を分析し、再発防止に努めるなど子ども

政策効果の高い取組を推進せよ

日本維新の会

（全ての会計に賛成する意見）

区民の安心と暮らしやすさを高める行政DXや防犯対策、子育て支援策は着実に推進すべきである。一方、定住・住み替え応援事業は住宅取得時の一時的な給付にとどまり継続的な定住促進につながるか疑問だ。実効性ある事業となるよう検証し、柔軟に改善せよ。

未来を担う子どもを全力で支えよ

無所属

（全ての会計に賛成する意見）

平和教育の充実に向け、広島市への中学生派遣事業における成果を十分検証し、有意義な事業へと発展させよ。いじめ対策の推進に

令和8年度各会計予算

内 容	対前年度比増減率
一般会計	4313億5301万円 7.9%
特別会計	
国民健康保険事業会計	842億690万5千円 2.4%
後期高齢者医療会計	294億1479万6千円 10.4%
介護保険事業会計	760億5895万3千円 2.2%
計	6210億3366万4千円 5.8%

一般会計予算の内訳（% = 構成比）

